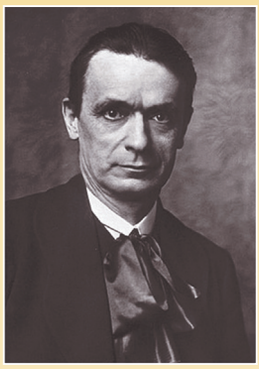
Rudolf Steiner:
"Esoterische Betrachtungen
karmischer Zusammenhänge", 6 Band VI, GA 240

Die Zeitalter der Erzengel

シュタイナーによれば、人類の発展は７人の大天使たちによって導かれており、この７人の大天使たちが順番に、それぞれおよそ350年ほどの間、人類の時代を指導していく。私たちの人類は、1879年の秋以来、大天使ミカエルの時代を生きている。そして、大天使ミカエルの課題はアントロポゾフィー運動と全く緊密に関わりあっている。ミカエルの持つコスモポリタニズム（世界市民性）とは、今日支配的な経済と金融のグローバル化とは全く逆で、自由な精神生活の下に、現在の地球にある最も霊的に質の高いものが、世界中に広まっていくべきだという考えであり、今世界中を支配している物質主義とお金崇拝のアーリマン宗教と真っ向から戦う、霊的な運動である。

新刊書　2026年4月25日発行
A5版フランス装　本文144頁
ISBN978-4-903865-60-7
定価2750円（本体価格2500円＋税）



ルドルフ･シュタイナー　Rudolf Steiner, 1861-1925

最晩年1924年の活動は、81回にも及ぶ講演［カルマ的関連の秘教的考察］に止まらず、全焼したゲーテアヌムの再建にも取り組み、音楽オイリュトミーのための講座をはじめ、治療教育講座、言語オイリュトミー講座、農業講座、さらに労働者のための講座も続けている。またキリスト者共同体の創設や、ヴェレーダなど医薬品の開発にも力を注いだ。本書はドイツ語全集版（第6巻 GA 240）に収められたシュトゥットガルト、アルンヘム講演の全訳。

訳者　浅田　豊　Yutaka Asada

オイリュトミスト、人智学研究家。スイス在住、ゲーテアヌム書店に勤務。シュタイナーの思想、社会論を研究。訳書に、シュタイナー著 『二つのメモランダム(覚書き)』『個人と人類を導く霊のはたらき』『ゲーテ的世界観の認識論要綱』『アントロポゾフィー医学の本質』(共訳)など。

ルドルフ･シュタイナー講演集
［カルマ的関連の秘教的考察］

ルドルフ･シュタイナー

大天使たちの時代

シュトゥットガルト、アルンヘムにおける５回の講演
（1924.4.9-7.20）

浅田 豊 訳･解説

ミカエルの時代が始まると常に、地上の人類にとって、すべての民族の違いを克服し、この時代に地上に住んでいる様々な民族の間に、この特定の時代に最高の文化、最高の霊的内容として発生したものを広めたいという憧憬が発生するのです。ミカエルの統治は常に、世界市民的（コスモポリタン）な原理が増大していくことを意味しています。地上における最高の霊的な水準を広めることを常に意味しています。言語は様々であるにせよ、この霊的水準を受け入れることのできる諸民族の間に、これを広めるのです。それゆえ、人類の発展の中に自分の衝動を送り込む７つの大天使の中で、ミカエルは常に、人類に世界市民主義の衝動を与える霊なのです。そしてそれと同時に、ある時代の中にある最も価値の高いものを人間の間に広めようという衝動を与えるのです。(本文より)

◉講演の概略

講演1　レッシングと永遠／アラビア主義とハールーン・アッラシード／秘儀参入者ガリバルディ／アモス・コメニウス／シュタイナーの幾何学の先生とバイロン卿／マルクス、エンゲルス、そしてムアーウィア

講演2　人間の睡眠と死後の生活／人類の原教師たち／水星領域と金星領域、そして太陽領域へ／フリードリッヒ・シラーのローマ時代の体験／ゲーテ／ハインリッヒ・ハイネのインドの受肉

講演3　クリスマス会議／ミカエルの潮流を準備する二つのグループ／シャルトル学派とダンテ／ドミニコ会／シュタイナーの人生におけるシトー会

講演4　ミカエルの統治／前回のミカエルの時代とアレクサンダー／地上の知性とアラビア主義／プラトン主義とアリストテレス主義／19世紀前半の超地上的な祭礼／アントロポゾフィーに対する奇妙な批判

講演5　大天使ミカエルと人間の知性／15世紀から18世紀にわたるミカエル学院／それに対抗するアーリマン学院／アーリマンが作家として登場する